

心豊かな世代が育つ 童話の里づくり

423

—シリーズ— あなたの権利・わたしの権利

にもいくつもあると思うからです。
例えば、はげしい言葉かけ、軽い無視、特定の人ばかりひいきする等、心が重くなることは田舎から起つてているのです。

「自分ができることを」

小田小学校 6年

筒井 瑞那

「二十一世紀は、人権の世紀へ」

と言つて二十年が過ぎようとしていますが、私はこの言葉通りの世の中になつてゐるとは思いません。

なぜなら、武器を持つて戦う紛争なども世界には存在しているし、

ニュースや新聞にもイジメによる自殺の記事、インターネット上のひどい書き込みによるトラブルの情報があふれているからです。

この間もテレビに出演していたタレントの人が自殺したというニュースが耳に入りました。その原因は、インターネット上のひどい書き込みだと言つています。

私たちの学級では、この事件について道徳の時間に考えてみました。

インターネット上にひどい書き込みをすることがあります。

「人の気持ちを考えられない人間」「自分の気持ちを考えられない人間」攻撃するのはひきょうだ。」

という意見が出されました。

その授業で、不必要的SNSの利用はしないこと、人を攻撃したり非難したりする書き込みは絶対にしないことを確認しました。

その一方で、自分たちのまわりに人権が守られていないことがあるかをふり返りました。

「いやなことは、もちろんしないし、そんな場面に出会つたら勇気を出して注意する。」

私は、自分のことにおきかえて考えた結果、

「自分がされていやなことはしない。」

と、発言しました。

私は、自分のことにおきかえて考えた結果、

「自分がされていやなことはしない。」

私は、自分のことにおきかえて考えた結果、

「なぜなら、人権が守られていないことを「心や体が傷つけられた」といふれば、わたしたちのまわり

「心」で、人の心や身体を傷つけることをなくすために、一人ひとりが自分でできる「こと」を考えました。

Aさんは、

「困つてゐる友だちの話を聞いて、自分ができる「こと」をする。」

Bさんは、

「『いつべき』とは『いつが、されたことの仕返し』ではない。」

Cさんは、

「いやなことは、もちろんしないし、

そんな場面に出会つたら勇気を出

して注意する。」

私は、自分のことにおきかえて考

えた結果、

「自分がされていやなことはしな

い。」

と、発言しました。

友だちからはげしい言葉で文句を

言つて悲しい思いをした経験から

です。

友だちの言葉で傷ついたというこ

とは、逆に自分の言葉で友だちを傷

つけている可能性があるからです。私はそうだけど、学校のみんなや地域のみんなが自分にできる「ことを行え、人の心や身体を傷つけるようなことは次第になくなると思いま

す。私は、自分にできる「こと」として、「自分がされていやな」とはしない」を心がけて実行します。

学級の中で、それそれが自分にできる「こと」、しようと思つたことを具体的に発言していく「ことが素晴らしいですね。

この人権作文について、意見や感想、激励など、お寄せください。また、みなさんの投稿もお待ちしています。

わたしたちをとりまく様々な不合理や差別について気づいたことがあります。

わざいたことを一、二〇〇字程度にまとめてみましょう。住所、氏名、連絡先電話番号を記入して

(匿名も可)、羽珠町教育委員会社会教育課「あなたの権利・わたしの権利」までお届けください。

